



# 日本甲虫学会 Coleopterological Society of Japan

HP: <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/coleopterology>

Twitter 日本語アカウント: <https://twitter.com/kochugakkai>

英語アカウント: [https://twitter.com/Coleopt\\_Soc\\_Jpn](https://twitter.com/Coleopt_Soc_Jpn)

会員限定ページ: <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/members-only.html>

(ユーザー名:、パスワードはさやばね和文誌さやばね 41 号(2021 年 3 月 25 日発行)およびニューズレターのメール配信版 39~46 号に掲載しています)

## コロナ禍は標本整理でやり過ごしましょう

日本甲虫学会 会長 大原昌宏

コロナのお陰で、私はすっかり出不精となり、自宅と大学の行ったり来たり、大学では研究室と標本室の行ったり来たりで日々が過ぎているこの頃です。皆様、お変わりございませんでしょうか。

私の会長挨拶も、あと 1、2 回で終わりですので、今回は長く博物館に努めた立場から、自宅などで管理していた個人の標本を博物館に寄贈する場合について、記しておこうと思います。日本甲虫学会としても、先達の甲虫標本が公的な機関に収蔵されて、必要なときに必要としている研究者が活用できるのが理想だと思います。学会と博物館が連携しながら、そのような体制が作れると良いと思います。

博物館にとって、どのような標本の寄贈の形が望ましいか。いくつかの項目をあげてみます。

**(1) 針刺し標本、あるいは液浸標本である。**タトウ標本は未完成標本ですので、博物館が交換に使うなどには便利かもしれませんが、博物館スタッフが標本作製しなければならないことを考えると、望ましくない標本状態です。

**(2) 採集情報ラベルが、各標本についている。**採集情報のないものは標本ではなく、死骸です。

**(3) 同定ラベルが、各標本についている。**左端の一個体にのみ同定ラベルがついていて、あとは左に倣え、あるいは種名見出しラベルがあり、その下に(あるいは上に)あるのは全て同じ種名である、といった整理状態のものは、博物館が改めて標本整理をする際に同定種名がわからなくなり、整理作業を難しくします。

**(4) 博物館と同じ箱システムを使っている。**標本箱には、印籠箱やドイツ箱、さらに大中小とサイズの異なるものがありますが、博物館は一般には統一した箱システムで整理をしています。博物館に寄贈後、移し替えをしなくて良いのが望ましいです。

**(5) 防虫が完璧である。**

**(6) コレクションラベルがついている。**誰の個人所蔵標本であったかがわかると、標本由来が特定できての便利です。

**(7) 寄贈者本人が博物館に寄贈する、あるいは博物館スタッフとあらかじめ寄贈について話しあっている。**故人になられてからの寄贈は遺族の理解や同意の調整、標本自体の情報が得られなくなるなど、博物館スタッフの仕事が増えることとなります。

**(8) 寄贈に伴う自宅から博物館までの標本運送費も寄付する。**多くの博物館は助かるはずですが。

**(9) 種の保存法やワシントン条約などで譲渡規制されている標本を明確にしておく。**寄贈されてから書類手続きをしやすいように。

**(10) タイプ標本を明確にしておく。**同じく新分布記録などの論文に用いた標本にも明確になるラベルをつけておくと望ましいです。

**(11) 寄贈時の標本箱内全体の写真を撮影し、写真データも寄贈する。**メタデータとして便利です。寄贈標本数なども写真から確認できます。

他にも注意すべき点はあるかもしれませんが。会員の皆さんにも是非、後世に標本を残すため、上記のような標本整理を心がけていただけると幸いです。コロナ禍の過ごし方としては、良い方法だと思いますが。

=====

日本甲虫学会 ニュースレター 第 47 号

2022 年 5 月 29 日発行 ※本ニュースレターは主に HP の更新履歴に基づき、プレーンテキストにて不定期でメール配信しています。以後の配信停止ご希望の方はご連絡ください。過去の更新履歴も、PDF でご覧いただけます。

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/newsletter/newsletter.html>

(web 担当：初宿・山本 [webmaster@kochugakkai.sakura.ne.jp](mailto:webmaster@kochugakkai.sakura.ne.jp))